

大学・地域が融合した長野県農林業の革新 アグリ・トランスフォーメーション（農X）について

セミナー内容

農林水産業は長野県の重要産業ですが、荒廃農地や担い手不足等の深刻な課題が顕在化しています。信州大学では、内閣府 令和4年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業に採択を受け、大学の先端技術の異分野融合を通じて地域農林水産業の課題解決を目指す取り組みを進めています。本セミナーでは、農Xの実現に向けた材料研究と農林水産分野との融合、荒廃農地を活用した地域内資源循環、農業DXに関する最新の研究や、新技術等を社会実装する実践型教育等の取り組みについて講演を行います。

日時

2024年2月16日（金） 14:00-16:15

場所

松本商工会館 601会議室 オンライン併設

会場には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

対象者

農業、食品業に関わる長野県内の方、支援機関等

募集人員

80名（会場参加の方）

参加申込

下記申込フォームよりお申込みください

<https://www.nice-o.or.jp/info/info-46285>

申込締切 2024年2月9日(金)



長野県産業振興機構
で検索

参加
無料
講演会後
の交流会
は有償と
なります

1. 14:05～

信州大学におけるアグリ・トランスフォーメーション（農X）の実現に向けた取り組み
信州大学 アグリ・トランスフォーメーション推進室 副室長 宮原 大地 氏

2. 14:35～

信大クリスタルと信州「食・農」分野の共創
信州大学 先鋭材料研究所 所長／卓越教授 手嶋 勝弥 氏

休憩 15:05～15:15

3. 15:15～

信州そるがむで繋ぐカスケード型脱炭素社会の実現
信州大学 工学部 学部長 天野 良彦 氏

4. 15:45～

農業DXを活用した中山間地の地域課題解決に向けた取り組み
信州大学 農学部 准教授 渡邊 修 氏

交流会 16:30～17:30 予約制 会費 1,000円

農X成果による飲食物、アルコール飲料のご提供もあります。



長野県産業振興機構

NICE

主催：（公財）長野県産業振興機構

共催： 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

松本商工会議所

松本地域産学官連絡会



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

お問合せ：長野県産業振興機構 松本センター 担当：細野

TEL:0263-40-1780 Eメール：nice-matsumoto@nice-o.or.jp

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 農X推進室

TEL:0263-37-2061 Eメール：agri-x@shinshu-u.ac.jp

1. 信州大学におけるアグリ・トランスフォーメーション（農X） の実現に向けた取り組み

信州大学学術研究・産学官連携推進機構 アグリ・トランスフォーメーション推進室 副室長
宮原 大地 氏

信州大学では、研究シーズを農・食産業へと展開し、組織的な異分野融合研究と地域自治体・企業等との高密度な連携を創出することにより、長野県等における地域農林畜産業の課題解決を行う事業を実施している。今回は、地域と連携した課題解決に向けたプラットフォーム作り、材料研究等を農に展開したプロジェクトの成果や、地域の課題解決を担う人材育成に関する取り組み等について紹介する。

2. 信大クリスタルと信州「食・農」分野の共創

信州大学先鋭領域融合研究群 先鋭材料研究所 所長／卓越教授
手嶋 勝弥 氏

信大クリスタルとは、フラックス法およびその関連技術により生まれた機能性結晶材料である。信大・手嶋研究室はフラックス法結晶育成で世界を先導し、環境・エネルギー等に関する結晶材料を創製している。特に、水中に溶解するさまざまなイオンを吸着する結晶材料にて、信州の水をワンランクアップさせ、信州の食・農に関する地場産業に貢献している。

当日は、水・アースポジティブの視点から信大クリスタルの農X活用事例を概説する。

3. 信州そるがむで繋ぐカスケード型脱炭素社会の実現

信州大学工学部 学部長
天野 良彦 氏

食・農産業は、我が国の重要産業としての認識が益々高まっており、食・農産業の競争力強化は喫緊の課題である。信州大学工学部では、課題解決の手段として、これまでの農業技術に加えて、先端工学技術などを融合させた未利用資源の有効利用や、高付加価値食品の創出などの取組を行っている。本講演では、ソルガムを軸として、地域コミュニティ単位の地産地消やインフラを活用した信州モデルの構築を目指した取り組みを紹介する。

4. 農業DXを活用した中山間地の地域課題解決に向けた取り組み

信州大学農学部 准教授
渡邊 修 氏

中山間地では農林業従事者の高齢化や人口減少が加速しており、少人数で効率的に農林地を管理し、生産活動を維持する取り組みが必要である。農林業では勘や経験を元に活動が行われてきたが、生産システムの構築やデジタル化が大きく遅れている。農業DXでは、IT技術の導入で作業の効率化を行うことに加え、安全な食料生産や資源循環型の仕組みを構築できる。今回、ドローンや衛星RS（リモートセンシング）を活用した農地情報の収集と作物等の生育診断、鳥獣対策における通信システムの高度活用、地理情報システムの高度利活用に向けたリカレント教育プログラムの紹介を行う。

交流会 会費 1,000円

講演会終了後 講師の先生方との交流会を開催いたします。

農xの成果による飲食品もご用意しておりますのでお試してください。

アルコール飲料もごぞいます。

アルコール飲料をお試しになる方はお車を運転されませんようお願いいたします。

会場には駐車場はございません。近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。